

シドッティ没後300周年 記念講演とコンサート

— シドッティ、新井白石、キリシタン屋敷 —

2014

9/12(金)

14:00 ~ 16:00 (開場 13:30)

東京国立博物館 平成館 大講堂

入場無料 ※ただし、当日の入館料が必要です
一般 620円 / 大学生 410円 / 70歳以上・高校生以下 無料

最後のキリシタン・バテレン、イタリア・シチリア島生れジョヴァンニ・シドッティ (Giovanni Sidotti) は、1708年、鎖国中の日本に屋久島から潜入し、江戸のキリシタン屋敷に送られ、新井白石から尋問を受け、1714年10月10日殉教されました (1715年説もある)。新井白石はシドッティとの対話にもとづいて『西洋紀聞』と『采覧異言』を著し、師が持参していた「親指の聖母」の銅版油絵をスケッチしました。1954年に落成したカトリック碑文谷教会は、シドッティ持参の「親指の聖母」にちなんで「江戸のサンタ・マリア教会」と名付けられました。2014年8月26日から10月5日まで東京国立博物館において特集「キリシタン関係遺品」が開催されるにあたり、シドッティ没後300周年を記念し、師の功績を称える講演とコンサートを開催いたします。



◇ 講演 (14:00 ~)

「新井白石とシドッティ」～西洋紀聞、キリシタン屋敷、親指の聖母～

講師：マラス・ピノ教授 <G.B.Sidotti 日伊歴史資料館(ローマ)館長>

◇ コンサート (14:45 ~)

ザビエルからシドッティまで、キリシタンの歴史を歌う

作曲：ヴィンセンツォ・チマッティによるキリシタン関係の楽曲 / 出演者：チマッティ音楽友の会

特集「キリシタン関係遺品」

8月26日(火) ~ 10月5日(日)

東京国立博物館 平成館 企画展示室

<画像> 聖母像(親指のマリア)

イタリア 17世紀 長崎奉行所旧蔵品

- 1549年 フランシスコ・ザビエル来日 聖フランシスコ・ザビエルの歌 601番 (1949年)
- 1559年 平戸での迫害 Operetta「La croce sul colle」18番 (1943年) より2曲
- 1582年 4人の少年 西洋を訪れる
天正の御代にローマに遣わされた使者を偲ぶ歌 752番 (1942年) 木下奎太郎作詞
- 1597年 日本26聖人 殉教する 日本の26聖人の歌 974番 (1949年)
- 1600年 細川ガラシア夫人 命をささげる
オペラ「細川ガラシア」22番 (1939年) 第1幕と3幕より抜粋
- 1613年 慶長遣欧使節派遣される オペレッタ「支倉六衛門」23番 (1942年) 第1幕と2幕より抜粋
- 1637年 島原のキリシタン弾圧 オペレッタ「原城なく」34番 (1949年) 1幕と3幕より
- 1640年 外国人と結婚した女性「ジャガタラ」へ追放
ジャガタラの娘 745番 未完 Operetta「ジャガタラ」より (1942年)
- 1669年 全国に絵踏み制度が導入される 「踏絵」642番 (1949年) 上田敏作詞 第1幕と2幕より抜粋
- 1685年 キリシタン屋敷でキアラ神父死去 解説
- 1708年 シドッティ神父 屋久島上陸
「漁師の歌」678番 C.Tassinari 作詞 シドッティ神父「最後の殉教者」より

◆ 出演者 ◆

(司会) 亀井小百合
(指揮) 友清和親、島田道生
(ピアノ) 岩瀬彩、石川百合子、
篠原栄子、水谷直子
(テノール) 太田賢治、島田道生
(ソプラノ) 相馬宏美、盛田麻央、
新明裕子
(フルート) 勝俣敬二
彩の国上尾少年少女合唱団
女声合唱団四季
コーラス エスピリトゥス